



R2 チャレンジ! グリーン活動

生物保護コース

観音寺市立伊吹小学校

全校委員会

伊吹小学校児童は7名です。全員が協力して活動をしています。児童は、みんな明るく元気で勉強やスポーツが大好きです。昼休みには、みんなでソフトバレーボールやサッカーをしています。4年前からフジバカマを植えて秋に飛来するアサギマダラの観察、2年前からキジョランも植えて産卵と保護活動に取り組んでいます。

目標

伊吹島にアサギマダラをよぼうプロジェクト2020

指標

- ・秋の飛来のためにアサギマダラの好きな「フジバカマ」の栽培を昨年に続いて行う。
(鉢植えを16鉢と運動場に14株を植える。)
- ・秋の飛来60頭を目標に観察しマーキングにも挑戦する。
- ・今年は、スナビキソウ6株を植え2021年春の飛来を観察したい。

活動の様子

6月22日(月)アサギマダラ飛翔会の方のお世話でフジバカマの苗30本を植木鉢と路地に移植。植木鉢は、猛暑や台風の時移動できるので管理がしやすく病気になりにくい。又、今年で4年間お世話になったアサギマダラ飛翔会の方や伊吹島ボランティアガイドの方に感謝状を贈った。春の飛来が期待できるスナビキソウを6株を運動場の砂地に植えて春の飛来に挑戦することにした。



一人二鉢にフジバカマの苗を植え付ける。



アサギマダラ飛翔会の方に感謝状を贈る。

2016年～2020年の4年間フジバカマを植えてアサギマダラの飛来を観察。10月10日～11月10日の約1ヶ月間秋の日本列島南下途中に伊吹島に飛来する。気温が20度前後でよく晴れた朝8時頃から16時頃までアサギマダラの観察ができる。延べ飛来数60頭前後で、遠くは山梨県都留市、岡山県の芥子山でマーキングされた個体が確認されている。2019年には、30個の卵をキジョランに確認。3個が成虫になったが、時期が早く死んでしまった。今年は、キジョランを4本増やし産卵をできるようにした。

<本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

フジバカマは、夏の暑さに弱く水かけが必要で3年目になると白絹病にかかりやすく枯れてしまうことが多い。そこで、冬には茎をかって成長を押さえたり、消石灰を根元に散布して菌の繁殖を抑えたりした。今年も鉢植えのフジバカマにし校舎の日陰で栽培。夏休みの水かけをしやすくした。キジョランに日よけシートをかけて育ちやすい環境にした。

目標の達成度

2年目のフジバカマ鉢植え栽培は成功。木陰にキジョランの苗を植え日よけで日陰を作ったので3年目でツルが長く伸びた。秋の茎の刈り込みや石灰の散布で白絹病を少し押さえられた。